

平成30年度決算に基づく健全化判断比率・資金不足比率

○健全化判断比率

平成30年度決算に基づく健全化判断比率の算定結果は、次の表のとおりとなりました。

実質赤字比率と連結実質赤字比率については、昨年度に引き続き赤字はなく、実質公債費比率については昨年度と同率となりましたが、将来負担比率については昨年度に比べ2.6ポイント改善いたしました。

いずれの指標についても、早期健全化基準や財政再生基準を下回っています。

指 標	H30決算比率	早期健全化基準	財政再生基準	備 考
実質赤字比率	—	(12.65%)	(20.00%)	赤字がないときは「—」で表示
連結実質赤字比率	—	(17.65%)	(30.00%)	
実質公債費比率	4.4%	(25.0%)	(35.0%)	H28 : 4.3% H29 : 4.4%
将来負担比率	17.3%	(350.0%)		H28 : 25.4% H29 : 19.9%

○資金不足比率

平成30年度決算に基づく各公営企業の資金不足比率の算定結果は、次の表のとおりとなりました。

昨年度に引き続き、資金不足（赤字）を生じた公営企業はありません。

公営企業会計	H30決算比率	経営健全化基準	備 考
水道事業会計	—	(20.00%)	資金不足がないときは「—」で表示
下水道事業特別会計	—		